

片岡郡から多胡郡へ

古代山部郷を 探る

古代の山部郷は、おおむね現在の高崎市南八幡地区(山名・木部・阿久津・根小屋町)と推定されています。古墳時代後期には屯倉が置かれ、ヤマト政権の直轄地となりました。飛鳥時代には律令制下の片岡郡に属し、奈良時代の711年3月、新設された多胡郡の一部となりました。

上野三碑(山上碑・多胡碑・金井沢碑)を生んだ古代多胡郡地域の歴史的背景を知るためには、多胡郡を構成した六つの郷の、もともと所属していた郡における位置づけ、また、そこから割かれた理由を考える必要があります。

今回の展示では、山部郷を含む古代片岡郡の遺跡について、奈良時代を中心に概観します。

本展が、古代多胡郡を考える一助となれば幸いです。



八幡台地：古代片岡郡の役所があったと推定されている。



山名古墳群：山部郷を開発した勢力の墓域と考えられている。



銅鉢(石原稲荷山古墳/高崎市観音塚考古資料館蔵)



複弁七弁蓮華文軒丸瓦(てえせえじ遺跡/高崎市観音塚考古資料館蔵)



来訪の
人をもてなす
ボランティア

上野三碑特別公開

10/29日 時間: 9:00~15:00
場所: 山上碑・多胡碑・金井沢碑 各現地

上野三碑かるた大会

11/3祝・金 時間: 9:30~、11:30~
場所: 吉井運動公園 体育館

※ 事前申込が必要です。詳しくは
高崎市公式ウェブサイトにて



交通のご案内

- JR高崎駅から車で約15分
- 上信電鉄吉井駅から車で約5分、徒歩で約30分
- 上野三碑めぐりバスで約10分
- 上信越自動車道 吉井ICから車で約7分

多胡碑記念館

〒370-2107 群馬県高崎市吉井町池1085番地
TEL.027-387-4928 FAX.027-387-8726
E-mail:tagohi@city.takasaki.gunma.jp